

報道各位

2016年11月29日、ブベール（スイス）／東京（日本）

フィリップ モリス ジャパン、同一賃金（EQUAL-SALARY）を達成した雇用主として認証取得

フィリップ モリス ジャパン（PMJ）は、フィリップ モリス インターナショナル（PMI）の関連会社として、スイス以外の国で初めて男女同一賃金を達成した雇用主として、スイスのNPO法人EQUAL-SALARYより認証を授与されました。フィリップ モリス インターナショナルは、2015年、スイスの多国籍企業の中で初めて、男性と女性を給与面で平等に扱う企業として認証を授与されています。そして今回、フィリップ モリス ジャパンが新たに認証を受けたことで、多様性を尊重するフィリップ モリスの文化、ダイバーシティとインクルージョンに対するコミットメントが裏付けられました。

フィリップ モリス ジャパンが認証プロセスをクリアしたことに伴い、EQUAL-SALARYのレーベルが、本日東京で、EQUAL-SALARYの創設者、Véronique Goy Veenhuysにより授与されました。授与式には、衆議院議員・内閣府副大臣石原宏高氏および駐日スイス大使ジャン=フランソワ・パロ氏も出席されました。

この機会に、PMJ社長ポール・ライリー氏は次のようにコメントしています。「日本でこのような認定を受けることができ、非常に光栄です。とりわけ、日本では、男女間の給与格差が27%もあると推定されているのでなおさらです。また、2010年のEQUAL-SALARY財団創設以来、スイス以外で同財団の認定を受ける最初の企業になれたことも光栄に感じております」

フィリップ モリス インターナショナル、ダイバーシティ&インクルージョン担当副社長、ラケル・ブラン（Raquel Blanc）氏は「今回のPMJの認証取得に続き、このプロジェクトをグローバルに拡大する計画に着手しています。2017年中の認証取得を目指し、他にもいくつかの国で準備を進めているところです。より多くの傘下企業とともに、この運動に取り組むことにより、この認証制度が同一賃金の象徴として世界中で広く認識されるよう、お役に立ちたいと考えております」と述べています。

同一賃金の実践

ほとんどの企業が、男性と女性に同等の賃金を支払っていると表向きは主張していますが、男女間の賃金格差の実態を見てみると、世界全体で23%、ヨーロッパで16.4%、スイスでは15.1%、日本では27%もの開きがあります。

EQUAL-SALARY財団について

EQUAL-SALARYは、2005年に創設され、その後、2010年に財団法人として法人化されました。André Schneiderが同財団の代表を、Véronique Goy Veenhuysが創設者兼CEOを務めています。EQUAL-SALARYは、これまでに40件近い企業・組織について認証プロセスを完了しており、これらの認証を



通じて、雇用者数にして約2万人の人々に影響を与えています。認証を取得した企業の多くが、認証期間が終了した後も、同一賃金平等へのコミットメントを更新しており、公平性を推進し、従業員との間で信頼と敬意を築こうとする強い意志を示しています。EQUAL-SALARYは、男女間の賃金の平等に焦点を当てた世界最初で唯一の認証制度であり、欧州委員会の性別による賃金格差（Gender Pay Gap）に関するレポート¹でも、大きく取り上げられています。同財団は、国連グローバル・コンパクト（UN Global Compact）のメンバーでもあります。

EQUAL-SALARYの認定プロセス

賃金に関するISO国際標準と同様に、EQUAL-SALARYの認証プロセスも、ふたつの段階より成り、外部の専門家が重要な役割を果たします。第一段階では、ジュネーブ大学により、認証取得候補企業の給与方針に基づき、給与データについての統計的分析が実施されます。分析の結果、男女間の全体的な賃金格差が5%未満であることが判明した場合には、第二段階として、SGS社（Société Générale de Surveillance）と監査の契約を行います。同社が、プロセスの適合性に関する認証を行います。この第二段階において、SGS社は、同一賃金に対する候補企業の全体的姿勢とその実行プロセスの両方について評価を行います。全ての情報を真に網羅するためには、従業員に対してもインタビューや調査を行う必要があります。このような調査を行うことは、認証取得候補企業にとっては、男女に平等の賃金を支払っていることを確認するとともに、従業員に伝える良い機会となります。また、透明性を確保すると同時に、機密性を保護することができる実際のソリューションでもあります。

EQUAL-SALARYレーベルを獲得した企業は、社内外に向かって、優れたガバナンスの実践をアピールすることができ、それにより、優れた人材を引き付けることが可能になります。

スイス連邦による支持

EQUAL SALARYは、非営利組織です。

スイス連邦男女平等事務所（Federal Office for Gender Equality : FOGE）からの資金援助を通じて、スイス連邦が、同財団の活動を支援しています。

連絡先：

EQUAL-SALARY veroniquegoy@equalsalary.org 電話：+41 79 250 95 39

フィリップ モリス インターナショナル media@pmi.com 電話：+41 58 242 45 00

¹http://ec.europa.eu/justice/gender-equality/files/gender_pay_gap/140227_gpg_brochure_web_fr.pdf